【稲城市】

里山の棚田で米づくり「坂浜里山プロジェクト」

稲城市立稲城第二小学校は、古くからの里山や雑木林がのこっている坂浜地区で、棚田を借りて米づくりを行っています。全学年の子どもたちで分担して行う収穫までの一連の作業を通じ、人や地域・自然のつながり・里山文化の大切さを再発見し、自然豊かな環境の中で暮らし続けて行くための方法を、体験を通じて考え、学んでいきます。

稲城第一小学校「稲城の森100年プロジェクト」

5年生が校内の樹木に親しむための観察・測定活動をしています。

地域と一体となった「ESD」で未来創造教育

稲城市は、豊かな自然や人とのつながりを生かしたESD（持続発展教育）に取り組み、地域ぐるみで未来の社会の担い手である子どもたちを育てています。米作りや梨作りを通じた生産や環境に関する学習、野沢温泉村での自然体験教室、姉妹都市の北海道大空町との教育交流のほか、小・中学校はユネスコスクールに登録して海外の学校とも交流を図っています。